

# 「わくわく親ひろば」にようこそ！

## 場とつながり

発行元 特定非営利活動法人 場とつながりの研究センター まちづくり事業部 三田市天神1・5・33 三田市商工会館211 ☎079・553・2521 Fax 079・553・2522 会員申し込み・弊紙へのお問い合わせは右記までお願いいたします。

### 県の子育て支援事業を展開

#### 三世代のための楽しい講座が人気！

兵庫県では、家族の絆を深め、地域で家庭を支える「ひょうご家庭応援県民運動」を推進しています。この一環として地域全体がともに支えあう「地域三世代同居」の実現を目指し、親自身が成長するための「親まなび」を応援します。そのための「学び」の場が「わくわく親ひろば」です。当NPOは「親ひろばコーディネーター」としてこの事業を展開しています。

「今度地域の子ども会で何か親子で楽しめる講座を開きたいけど、何をしようかな？」「いつも参加している親子サークルに講師を招いて体験レッスンをやってみよう」：そんな子育て中のみならず

んのお助け隊として登場したのが「親ひろばコーディネーター」です。兵庫県が進める子育て支援事業「わくわく親ひろば」は、親子で、地域で子育てをしながらみんなで楽しく学ぶための支援を行っています。その「親ひろば」で子育て中の団体の相談役になるのが「親ひろばコーディネーター」。



「胎内記憶ドローイング」講座の1コマ。「親子でゆったりと過ごすひとときがとても大切」と吉田先生。

当NPOはこの事業を兵庫県より2010年より受託・運営しています。「これまでも親子で、地域で、多世代で楽しめる講座のお手伝いをしてきました。団体が希望する講座と、講師の方とのマッチング、広報のお手

### 多世代で、地域で子育てを

時間を親子で大事にすることだと思えます。ぜひ多くの方に味わっていただきたい時間ですね」(吉田さん)

実際に参加した当NPO・現コーディネーター

ちゃんと言えてるんです。ゆつくり静かな環境で、お母さんのお膝の上で語り合っていると、当時の

ことを話しながら絵にしてくれそうです。大切なのは鮮明な記憶云々ではなく、そんなゆつたりした

ことを話しながら絵にしてくれそうです。大切なのは鮮明な記憶云々ではなく、そんなゆつたりした

当NPOでは、市民活動推進プラザの受託運営の他にも「人と人がつながる場所を創る」ための事業を展開しています。

■問い合わせ：NPO法人場とつながりの研究センターまちづくり事業部 三田市天神1・5・33 三田市商工会館211 ☎079・553・2521 Fax 079・553・2522



(上) あかしあ台子ども会「親子で手作りせっけんを作ろう」の講座。(下) 兵庫ブルーサンダーズファン感謝祭で「プロ野球選手による親子でキャッチボール講座」。



も素晴らしい事業なんだなと思いました(笑)」と改めて語っていました。この親ひろば事業は3月をもって終了する予定ですが、親ひろばをきっかけにして様々な出会いがいつまでも続いていくことを当NPOは願っています。

◆高齢者の方のためのパソコン教室：インターネットを使って、地域の高齢者の方の交流を図る試み。◆各種社会調査の相談支援業務：市民活動団体が自ら地域ニーズを掘り起こすお手伝い。

◆そのほか市民活動のための各種相談に応じています。

当NPOでは、私たちの活動に賛同してくださる皆様からの寄付金によって活動を進めております。皆様からの寄付金は一口3千円より承っております。ご協力をお願いいたします。ご連絡をいただきましたら入会申し込み書と振込先についてご説明いたします。

### 市民活動団体のためのステップアップ講座、好評のうちに終了！

2011年度三田市委託事業として、当NPOが主催した講座「伝わる極意・市民活動団体のためのステップアップ講座」全3回が好評のうちに終了しました。今回の講座は、市民活動団体の活動内容をアピールすることができる



当NPOでは、私たちの活動に賛同してくださる皆様からの寄付金によって活動を進めております。皆様からの寄付金は一口3千円より承っております。ご協力をお願いいたします。ご連絡をいただきましたら入会申し込み書と振込先についてご説明いたします。



## 災害時、どうしたら子どもを守れますか？

震災以降、ボランティアコーディネーターとして三田と被災地を往復し続けるケンさん（当NPO主任研究員・杉浦 健）が被災地での子どもたちと保護者の様子を三田のママたちに語りました。



家屋から泥にまみれた荷物などを運び出す「三田支援ネット」のメンバー。時には力仕事、時には子どもの遊び相手になる。（写真提供・杉浦）

三田市を中心に活躍する「子育て支援グループ・キララ」さんの主催で、三田に住んでいるママたちが、緊急時にどうしたら子どもを守るかを学ぶ講座が3回にわたり開かれました。第2回講座に登場したのが、当NPO主任研究員であり、関西学院大学の学生たちからなる「三田支援ネット」でコーディネーターとして被災地支援に奔走するケンさん。3児の父親として、ボランティアとして、「その時、私たち親は何をすべきか？」を集まったママたちに語ってくれました。

### 子どもたちとストレス

「本来子育ては、親の仕事であり学校の仕事であ

り子育て支援団体や地域の人も、つまり「大人の仕事」子どもに関するさまざまなトラブルは日常的にどこでも起こっています

「最初はびっくりしましたよ。でも父親は仕事、母親は仮設住宅で片付け、さらに仮設住宅では静かにしろと言われ、ボランティアに來た大人たちは作業で忙しい。誰も大人が構ってくれなかった。そして、子どもながらに生きるか死ぬかの修羅場を経験した子らのストレスは凄まじいはずですよ。

ボランティアは作業だけじゃないんです。子ども被災者の方の話を聞くことも今でもとても喜んでもらえるので、ぜひあちらに行く機会があればやっていただきたい」

### ■「忘れてへんで！」

そして、ケンさんはこうも語ってくれました。それは「約束する」ということの大切さについて。

ケンさんのお話の中で胸がしめつけられる気持ちになったのは、被災からしばらく時間がたった子どもたちの様子。その日、ケンさんたち一行は

瓦礫撤去はお休みにして子どもたちとまわる一日、ただひたすら遊ぶことを決めました。ドッジボールに鬼ごっこで炎天下、遊んでいると、おもむろにケンさんたちをバドミントンのラケットで「突然どついてくる」子どもがいたそう。きつと子どもながらにストレスの口を求め、甘えたかったのかもしれない。ケンさんたちなら受け止めてくれる、と本能で考えたのかもしれない。

「最初はびっくりしましたよ。でも父親は仕事、母親は仮設住宅で片付け、さらに仮設住宅では静かにしろと言われ、ボランティアに來た大人たちは作業で忙しい。誰も大人が構ってくれなかった。そして、子どもながらに生きるか死ぬかの修羅場を経験した子らのストレスは凄まじいはずですよ。

これから開学生たちと一緒に、長く被災地支援を続けていくというケンさん。わが子を緊急時に守る話同様、三田に暮らすママたちにもできる支援があることを知ったのは実に有意義な経験だったのではないだろうか。



## 当NPOをはじめ、兵庫で活躍する6団体呼び掛けるプロジェクト「ひょうごコミュニティ基金」(仮称)の設立を応援してください！

東日本大震災により、寄付の意識や関心はとて

も高くなりました。とりわけ、阪神・淡路大震災の経験から兵庫県民は、地域への意識が非常に高いといわれています。兵庫県には、およそ1700ものNPO法人を含め、数万ともいわれる市民活動団体が活動しています。そんな兵庫県に住む市民の方々と、NPO・市民活動団体をつなぎ、これまでの寄付についての不安や悩みを解消するしくみとして「ひょうごコミュニティ基金(仮称)」をつくりたいと考えています。

「想い」を、必要としている人にきちんと届ける基金、寄付先を「選べる」

「寄付はしたいけど、必要としている人にちゃんと届いていないのかな？」「自分や子どもの暮らし、自分の地域に還元されるような寄付がしたいんだけど…」

そして、寄付を受けたNPOには、こんな悩みがありました。

「地域に役立つ活動をしているつもり！けど、知られてなくて寄付が集まらない！」「PR活動はしているんだけど、小さな活動だからなかなか注目してもらえない！」

そんな寄付したい人の「想い」を、必要としている人にきちんと届ける基金、寄付先を「選べる」

「ひょうごコミュニティ基金」(仮称)設立呼びかけ団体

「ひょうごコミュニティ基金」の設立を応援して下さい。

変える

社会を

FAX 079-553-2522  
e-mail info@batotsunagari.net

しくみを作ります。

当NPOでは、NPO法人コミュニティリンク、シーズ加古川、市民事務局かわにし、宝塚NPOセンター、市民活動センター神戸とともに、この基金設立を応援してください。この基金は市民の方々の「必要だ」応援したい」という声が集まらなければ実現できません。現段階では寄付金を募るためではなく、社会をよりよくしていくというこのプロジェクトへの応援メッセージを集めたい、と考えています。まずは3000人を目指して応援してください。方法は簡単！お名前、ご住所、電話番号、性別、年齢、団体名、メールアドレス、一言メッセージをメールもしくはファックスいただくだけでOKです。応援しよう！と思われた方、詳しく話を聞いてみよう、と思われる方は当NPOまでご連絡ください。

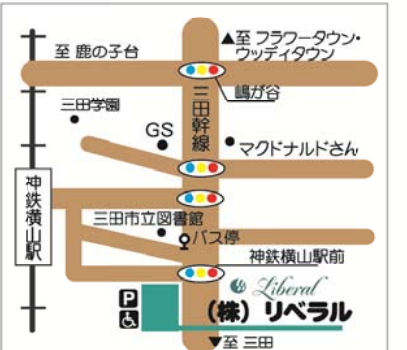
「子育てしながら働くお母さんをサポートする」を理念に設立した当社は、女性の就業支援・男女共同参画・スキルアップ・ワークライフバランスの確立を主軸に、幅広く活動しています。

昨年末、働きたい女性を応援するフリーペーパー「リベラル通信」を創刊。毎月15日、働く女性にとって「知りたかった!」役立つ情報を厳選してお届けしています。

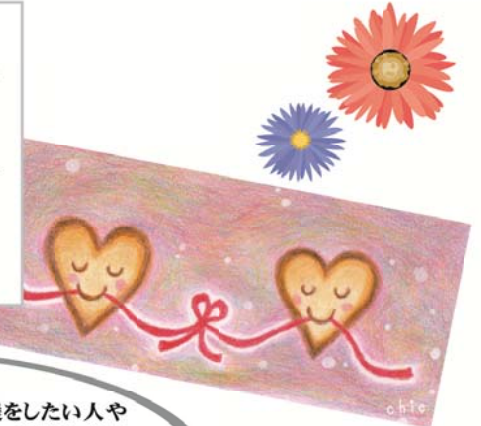
働きたいけど今一歩、前にすすめない。子育てや家庭と仕事の両立が心配…。誰も色んな不安を抱え、様々な人に支えられ、助け合いながら生きています。私達は、がんばる女性の「サポーター」として、子育て支援情報の発信・交流・ネットワークの拠点となるよう、努力してまいります。

### 株式会社リベラル

〒669-1535 兵庫県三田市南が丘2丁目4-13  
TEL: 079-562-0666 FAX: 079-562-0776  
URL: http://liberal-woman.com  
E-Mail: info@liberal-woman.com



働きたいママを応援します！  
フリーペーパー創刊  
リベラル通信



兵庫県から認可を受け、子育て支援をしたい人や支援を受けたい人が気軽に立ち寄り、情報を収集・発信しあえる『子育て情報楽座』を設置!!  
ママ向けスキルアップ講座の情報などを掲載しています  
お気軽に立ち寄りください